

小中連携だより

平成29年12月1日 第2号

立川第二中・第二小・第五小・南砂小

「小中連携を通して 心のふれあい」

第五小学校 校長 藏重佳治

日頃より、立川第二中学校区の小中連携教育に、ご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。過日行われました、第二中学校 1組と本校こだま学級との交流では、標準服姿のお兄さん・お姉さんのたくましい姿やきれいな歌声や演奏を憧れの眼差しで見つめていた児童の表情が印象に残っています。その表情からは、低学年の児童は、将来の自分の姿を、高学年の児童は、具体的な進路として思い描いているようにも映りました。

小中連携を通して、指導内容や指導方法の系統性を確立していくことはもとより、児童・生徒の心ふれあう交流の場もしっかりと設定していきたいと考えています。皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

2学期の活動から

＜小中連携外国語活動＞10月3日（火）

新学習指導要領では、小学校高学年の外国語科の内容には「読むこと・書くこと」にも慣れ親しませることがあります。小中連携外国語活動が小学校の内容を充実させ、中学校に円滑につなげる活動になっています。

＜特別支援学級の交流＞10月25日（水）

卒業生の立派な演奏に憧れを抱く小学生。小学生の面倒を一生懸命みる中学生。互いによい交流となりました。

＜地域清掃活動月間＞11月1日～30日

各学校の周辺地域の清掃活動に取り組みました。日頃お世話になっている地域に少しでも貢献できればと思います。

＜小中連携教育協議会＞10月27日（金）

南砂小学校を会場に立川第二中学校区小中連携教育協議会を開催しました。7つの分科会に分かれて、小中連携教育の内容を検討しました。

【学習習慣 A】

読書活動の充実を図る。2学期末から6年生の家庭学習ノートを実施。

【学習習慣 B】

運動の日常化に向けた取組の情報交換。課題となる握力は、休み時間の工夫で解決。

【生活習慣 A】

子どもと接するときの工夫を情報交換。教師の言葉遣いや褒め方・叱り方で信頼関係を築く。

【生活習慣 B】

あいさつ運動は同日に、各学校で開催。清掃運動は、11月中に各学校で取り組む。

【立川市民科】

地域や福祉の学びを小中でつなげていく。

【小中連携外国語活動】

進学先の教師とふれあえるよい経験になっている。

【特別支援学級】

交流の成果と今後の継続を確認。交流は進学への期待を高める。

小中連携外国語活動



特別支援学級の交流



地域清掃活動



地域清掃活動

